

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 15 日

事業名称		狭山緑地用地買収事業費 [狭山緑地用地買収事業]										
予算科目	款 8	土木費	項 3	都市計画費	目 3	公園費	事業番号	3				
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input checked="" type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	土木公園（環境）			課	公園緑地（緑化推進）			係	課長名	寺島 由紀夫		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	4 - 5			
【施策名】 緑の保全・創出								総合計画書 (ページ)	91			
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）							
	東大和市立狭山緑地				→ ①狭山緑地の全面積 ②民間所有の面積							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）							
公有地化し、良好な状態で保存し市民に開放できる。				→ ①公有地化がされた面積 ②解放されている緑地面積								
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）								
狭山緑地用地の買収				買収面積								
				→								
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標					
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標				
	対象指標	①の数值	①㎡ ②ha	①145,642.50 ②30,155.68	①145,642.50 ②30,155.68	①145,642.50 ②30,155.68						
	成果指標	②の数值	①㎡ ②ha	①115,269.02 ②14.6	①115,269.02 ②14.6	①115,269.02 ②14.6						
	目標	②の目標値	ha	3.1	3.1	3.1						
		目標値設定の考え方 狭山緑地の公有地化にむけ買収を進めていく										
活動指標	③の数值	㎡	0	0	0							
3 経費	事業費(実績)		円	319,000	354,200	1,861,200	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、 8,250,000円 時間単価は、 4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	319,000	354,200	1,861,200						
		特定財源(国・都・他)	円			0						
		(うち受益者負担)	円			0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1						
		所要人数(再任用)	人	0.1	0.1	0.1						
		職員人件費(再任用以外)	円	831,000	831,000	825,000						
職員人件費(再任用)	円	301,000	301,000	302,000								
事業費+人件費		円	1,451,000	1,486,200	2,988,200							
4 環境変化等	(1) 開始年度	昭和60年度										
	(2) 環境の変化	・地価が下落している。										

事業名称	狭山緑地用地買収事業費 [狭山緑地用地買収事業]			
担当部署・課長名	土木公園（環境）	課	公園緑地（緑化推進）	係 課長名 松本 幹男

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	用地買収の促進及び民地の整理			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ	取組手法：⑥		
	<input type="checkbox"/> 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点				
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）			
	用地買収における手法の調査			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。 ・地権者の相続関係の把握 ・不動産鑑定委託の実施			
(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 地権者との交渉及び特定空き家法の適用要件の把握				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）			
施策名： 緑の保全・創出				
<input type="checkbox"/> なっている <input checked="" type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）				
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			
	【取組内容】 地権者との交渉及び特定空き家法の適用要件の把握			
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
・地価の問題も影響すると思われるが、地権者への定期的な接触を図っていく。				